

1 日常の学習状況・課題について

新型コロナウイルス感染症による活動の制限が緩和され、感染対策を行いながらも、活動の幅が広がり、合唱発表に向けて前向きに授業に取り組んでいる。

しかし、行事準備への活動が多くなるにつれ、限りある時数の中で様々な活動に取り組む時間の確保という課題を感じている。

少ない時数での多岐に渡る学習から、授業内容への理解度や既習事項の定着度は、個人差が大きく基礎基本の定着が課題と考える。

また、男子生徒は変声状況に差が大きく、精神面への配慮も必要と考える。

2 改善の計画

(1) 学習面

- ① 行事と学習活動を結びつけながら、学習活動の幅を広げる。
- ② ICT教材やプリント等を活用し、基礎的な知識の定着を図る。
- ③ 一つ一つの活動と評価の結びつきを理解し、基礎技能の定着を図る。

(2) 指導面

- ① 研修などに参加しながら様々な学校の先生方との情報共有を行いながら情報を集め、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら活動の幅を広げていく。
また、生徒一人一人が行事への意識と学習が結びつくよう指導する中で、個々を認め合い協働して学習を行う指導の工夫を行う。
- ② ICT機器等活用しながら、短時間で深くわかりやすく提示する工夫を行う。
自作のICT教材を開発・活用しながら短時間での知識定着を目指す。
- ③ 活動に対し、どこがどのように評価に結びつくか、プリントなど作成し、その場その場での活動に結び付けながら説明しながら意欲を高める。

3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。